



碧南ロータリークラブ週報

第2458回例会 平成21年6月3日(水)

- 会長 平岩統一郎 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 木村 徳雄 2008-2009年度 国際ロータリーのテーマ
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田和徳・岡本明弘・角谷 修・黒田泰弘



● 齊 唱

国 歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のメニュー

割り弁当 大正館



平岩統一郎会長

会 長 挨拶

皆さんこんにちは。先週は失礼致しました。本日は6月の第一例会と言う事で、私の年度の例会も今日を含めましてあと3回だけとなりました。今日も夕方から刈谷クラブがスポンサーされました4クラブが御座いますが、4クラブの会長、幹事、事務局員の新旧交代、懇談会がもたれるわけで、いよいよ新年度が近づいてきたなと思っています。

経営者に求められるリーダーの条件とは、と言う事がいろいろな所で言われますが、私が聞いた中で面白いなと思ったものをご紹介します。本田技研の副社長をやってみえた入交さんと言う方で、東京大学工学部航空工学科を出た方で、昔から変わらないトップリーダーに求められる物は何であるかと言う事で御座います。それは第一に、経営者にもエンジニアにも共通する事がありますが、ナンバーワンになろうと言う情熱を持っているかと言う事だそうです。二番目は、本物か偽物かの違いが分かる目を持っているかと言う事、その違いも大きく赤とか白とかではなく、ほんの毛筋ほどの違いが分かるかどうかと言う事。三番目は、世の中の流れ(経済)が理解出来て、自分でそのロードマップを書ける力を持っているかどうかと言う事。四番目は、マーケット(市場)の動向を把握する力があるかどうかと言う事。五番目は、指導力(コミュニケーション力)リーダーシップが発揮できるか、人との発信、意思疎通が出来るかどうかと言う事。六番目は、自らが、経営に対する哲学を持っているかどうか、しっかりとした物の考えと言いますか思いをもっているかどうか言う事。以上が、昔から変わらないリーダーに求められるものではないかと言っておられました。私もこれらをいつも肝に銘じてやっているところで御座います。

幹 事 報 告

- 例会変更等は資料の通りです。
- 本日、例会終了後、第12回理事会(最終理事会)が201号室で開催されます。

役員、理事の皆様にはご参加頂く様、お願い申し上げます。



長田豊治幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数62名(内出席免除者15名の内出席者1名)出席者62名

出席対象者 62/77名 出席率 84.93%

欠席者15名(病欠者1名) 前々回修正出席率 98.65%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 鈴木 並生君 安協碧南支部の総会が皆様のご協力により無事開催できました。今後ともよろしく。昨日の総会時、森田先生に大変お世話になりました。感謝致します。
- 鈴木 輝彦君 5月30日三菱東京UFJ銀行のゴルフコンペにて優勝することができました。ダブルペリアでしたので幸運に感謝。
- 長田 豊治君 ちょっと嬉しい事がありました。まだ内緒です…。
- 清澤 聡之君 先日、コメンテーター宮崎哲弥氏が記念館に来館し、5月22日付の朝日新聞に掲載しました。
- 竹中 誠君 先週の例会にて当該年度3回目の100%出席率になりました。ありがとうございました。
- 阿部 信行君 本日つたない話の時間をいただきます。

〈親睦活動委員会〉

会員誕生日

1日 長田 和徳君 8日 原田 達八君 17日 鈴木 敏弘君 29日 亀山 裕一君

奥様誕生日

26日 栗田 政志君の奥様 恭子様

結婚記念日

4日 杉浦 栄次君・ちづる様 20年 7日 新美 真司君・琢美様 23年

12日 神谷 研君・文子様 63年 13日 大澤 明敬君・奈保美様 17年

卓 話

「私の履歴書」会員 坂本 利彦君

坂本利彦でございます。私は、去年の7月に入会させて頂きましたが、諸事情により卓話を延期させて頂きました事を、伊藤先生をはじめ、皆さまにお詫び申し上げます。特に入会に際しましては、平岩会長をはじめ長田幹事等々皆様のお導きでここまで来れました事に、この場をお借りして御礼申し上げます。本当に有難う御座います。人生のこれまでの一部と言いますか、大げさに言うと私の人生観みたいなものをお話して、多少でも私と言う者を分かって頂いて、これからも長いお付き合いを頂ければと思います。私は昭和21年、戦後の混乱期、広島市の爆心地に近い郊外の町で生を受けました。母親は原爆の翌日ですが、昭和20年の8月の7日には助産婦とかやっていました関係で、臨時で原爆手帳を持って市内に入ってやっていました。結局最後は血液の病気で亡くなりましたけれど、生前は元気で私を育ててくれた事は今でも感謝しております。周りもまだまだ発展途上と言いますか戦後の復興の只中にありまして、私も商売をやっている家に生まれまして、とにかく人の出入りが激しく年々周りが変わって行くと言うような所で育ちました。商売の方は両親でやっていたわけなのですが、小学生の頃、色紙みたいな物に「将来は貿易に携わりたい。」などと書き、今から考えると小生意気なところがあったのではないかと思いますけれども、貿易立国日本を支える商社マンになりたいと言って、「商社に入るのだったら大阪だ。」と、この辺



がちょっと全然、短絡的ではあるのですが、私が高校を卒業するにあたって、両親は、「商売を継いでくれ。」と言いましたが、それを振り切って、大阪の学校へ行きました。2歳下に弟がいて、その後、その弟も兄貴の影響で海外志向型になって、ロシア文学をやりたいと言って、これも生意気に東京へ出てしまったものですから、両親は誰も継いでくれないことに嫌気がさして、呉服、婦人服、紳士服など手広くやっていたのですが、すぐ商売をたたんでしまいました。その後は、畑とおふくろは、趣味の洋裁などで余生を送りました。親父はまだ元気になっています。中学、高校は、体を動かしている方が好きでしたので、中学時代は野球部でセンター2番でした。とにかくフライを取るのが好きで、今のイチロー選手なんか見ていると惚れ惚れしますけれども、とにかく、後ろを向いて、玉を見ないで走って、振り向きざまにボールを取るのが非常に快感でございまして、センターにフライが来たら俺に任せとけと言う感じでやっていました。高校時代はあまり身長が伸びなかったものですから、これはいかん、と言うことで、小技で勝負と言うことで、これもたいして大成はしなかったですが、3年間卓球をやっていました。それとは別に、基督教の教会にたまたま牧師先生が教えている英語教室の講座がありまして、そこへ通っていました。夏になると泊まり込みのキャンプがあり、高校時代はキャンプも楽しんでいました。私も基督教徒で、ロータリーとの出会いの中では、基督教と言うのがふさわしいのかもしれない。碧南の地に来てみて、いろんな形で神社、仏閣に接する機会がございましたが、私の両親は熱心な仏教、神道の信者でありまして、私の心の中では基督教と仏教と神道と、非常にいい加減ではありますけれども、典型的な日本人の形と言いますか、精神構造が出来上がって行ったのではないかと思います。高校時代はいろいろと悩む事がありましたけれど、こういった宗教的な支えもあって乗り越える事が出来たと思います。中・高を終えて、大学では文化系に転身いたしまして、フラメンコギターにはまりました。これがまた、東洋と西洋のなんとも言えない音で、名手が上に居たのですが、その演奏を聞いて、自分も独奏者になろうと言う事で、最後は、大阪の松下講堂と言う、松下幸之助さんが建てて下さった3千人くらい入る会場で独奏が出来るまでになりました。その代わり失ったものは、ほとんど教室には出てなかったと言う事で御座います。教室に出なくて奇跡だと言われましたが、なんとか卒業できました。その後、独学ですが商業英語などをかじりながら憧れの商社でありました伊藤忠商事と言う所へ昭和44年4月に入社致しました。入社当時、配属の面接で、経理で薄利多売の所からどうしたら儲かる体質に出来るのかを考えたいと小生意気な事を言ったものですから、繊維部門の経理に配属となりました。その関係でダラスに駐在する事になりました。ダラスと言えば、当時は綿花の大集散地で御座いまして、特にアジアを中心に紡績業に輸出をする商売に絡む財務経理等々をやらせて頂きました。南で一軒家も借りまして、週末は芝刈り、拳銃の練習、拳銃の練習と言うのがテキサスらしいのですが、とにかく人が侵入して来たら鉄砲で撃ってよいと言われ、おまけに貴方が出張の時には奥さんも撃てるようにしておきなさいと言われ、拳銃2丁頂きまして、練習しておくよと言われました。親に写真を送りましたらそんな危険な所に居ては怖いからすぐ帰れと言われましたが、そんなテキサスならではの経験もさせて頂きました。綿花の商売では農業に深く関わっておりまして、このあたりで今の砂糖の製造とかに関わる勉強をさせて頂いたと思っています。そこで2年終えたところでニューヨークへ参りました。ここでもまだ経理と言う事を引きずっていきまして、伊藤忠アメリカ会社の数十社ある子会社の連結の経理をやらせて頂き、一応4年間なんとか無事に終えまして、帰国の途に着く事が出来ました。今では3年間で帰ってこられるのですが、その当時は6年間行きっぱなしで、とにかく、むこうの両親に、「お蔭様で無事に帰って来ました。」と、会わせる事が出来た事が一番良かったなと思っています。後は、私の職歴に書いてありますように、経理から離れまして、経営企画、為替証券、広報部などとにかく幅広い事を勉強させて頂いて、34年間の人生を終えて、今こうして伊藤忠製糖に居る次第で御座います。

その間、商社で学んだ事と言うのは、やはり商社と言うのは、こうあるべきだと言う会社ではないと、常に変化を求めて変質して行く会社であるべきだと言う事を、身につまされて感じました。ただ、伊藤忠製糖に参りましてからは、変化をすると言う事は、会社ですから当然大事な事ですが、メーカーの場合は供給責任と言うのが常にありますので、品質を第一にして、この大事な工場を守って、皆様にご迷惑を掛けないと言う点を注意してやっていると言う事で御座います。今回お配りしたパンフレットの中にありますけれど、いろんな物を作っております。それから、昨今、砂糖は悪者だとかの風評があります。このパンフレットの中にもそう言った風評に対して、そうじゃないよと言う事で、いろんな砂糖の知識についてご理解を頂くような記事も御座いますので、ご一読頂いて、ご参考にして頂ければと思います。会社についてはまだ37年。他の製糖会社から言わせると新参者で御座います。しかし、昭和47年、オイルショックの前、この碧南に来まして、創業が49年、以来、碧南を中心としたこの三河地区の堅実かつ真面目な新入社員を向かってここまで伸びて来た会社で御座います。曲りなりにもなんとかここまでやれて来たのは、皆様のお陰だと本当に感謝しています。非常に駆け足で恐縮で御座いますけれど、今後ともロータリークラブの会員として励んで参りますので、引き続きご指導とご鞭撻の程をお願いしまして、私の履歴書と致します。どうも有難う御座いました。

「私の履歴書」会員 阿部信行君

東海東京証券の阿部信行でございます。高い所から失礼致します。また、「私の履歴書」の話をする為に、大切な時間を割いていただき大変恐縮しております。今回、改めて卓話の言葉の意味を調べましたら、とんでもない事だと感じており、皆様のお耳を汚す事になるかも知れませんが、宜しくお願い致します。私の名前の信行は、両親が付けたと言いますが、池袋支店に在籍当時にお客に言われ調べたところ、第36代内閣総理大臣と同名同姓でありました。東條英樹、伊藤博文ぐらい有名であれば、もう少し色々な人生があったのではと思っております。しかし、すでに50年以上慣れ親しんでおり、最近では名前を「信じて行く」と解釈して気に入っております。私は、昭和31年5月19日に岐阜県瑞浪市にて生まれました。先日誕生祝いをして頂いた時、会員である山中寛三先生、長田昌昇さんと同日であることにびっくりいたしました。と言うのは、今まで周りにいた方で誕生日が同じ方は記憶になかった為であります。それがこの碧南ロータリー内で3名も一緒であるとは、驚きを禁じ得ません。また、先日5月生まれは多数みえますとの話がございましたが、私の家族は女房と二人の子供の4名ですが、皆、5月生まれでおうし座なのです。それ故、誕生日のケーキは一つで間に合ってしまう、子供からは度々非難を受けていました。付加えるならば、私の弟も、そして義理の弟も5月生まれです。そんな私は、小学校での思い出として忘れられない事があります。会員の皆様に於いては考えられない事でしょうが、小学校5年の夏、臨海学校で知多半島の内海に行くにあたり、先生が「海を見た事があるか？」との質問をされたところ、手を挙げた級友が2人だけでした。なにを感じたのか忘れましたが、その事実のみが鮮烈な記憶として残っています。その後中学までは地元の学校を卒業し、高校は多治見、そして大学は名古屋と進学いたしました。岐阜の田舎者が名古屋で学生生活を送るようになり、全てが新鮮で驚きでしたが、特に海に関する食べ物について衝撃が大きかった記憶があります。私が育った瑞浪は、ご存知でありますように、化石以上に美濃焼きと言われる陶磁器が有名であります。たまたま、実家は祖父の時代に大正村で有名な明智から瑞浪の土地に出て、地元では俗に言う「釜焼き」を始めたのであります。私は3代目であったのですが、進学に際して後継ぎをするか否かで父親と話をし、お皿なんか、1年間で家庭で何枚割ったりして必要なのだろうか？それに、美術の通信簿が悪く、美的センスも無く陶芸家にな



れるわけ無い、と勝手に結論付け、当時の「丸万証券」に入社いたしました。父親は、当時どんな思いでこの勝手な結論を受け止めたかわかりませんが、その3～4年後に釜焼きを止めてしまいました。しかしながら、現状の陶磁器業界の不振等を考えると、選択肢として間違っていなかったのではと父と話をします。就職するにあたり、転居を伴う転勤の少ない地元企業であり、この業界は伸びるのじゃないかと私は思い、当時の「丸万証券」に就職いたしました。転居を伴う転勤の少ない地元企業に就職する訳として、一応長男である事と、名古屋から出て行きたくなかった事でしたが、なんと最初の赴任地は東京でした。それも東京証券取引所の「場立ち」です。証券会社の勤務で「場立ち」の仕事は憧れとしてありましたが、戸惑いばかりで大変でした。「場立ち」とは営業員が顧客から受注した注文を、株式部を通して預かり、体育館のような場所の中を、「板」と呼ばれる、銘柄毎に各社の注文を集計する紙に提出する係りです。人気の銘柄は、たとえが悪いですが蟻が砂糖に群がる様子で殺気立っていました。私は、商社や銀行等の担当で、暇な時は他証券の人達と会話をしていましたが、どんなに遠くても、どんなにうるさく話していても、顧客からの注文を伝達する「万の字」の人の声はわかりました。【丸万証券の屋号、野村S、大和S、新日本Sを示す】それは体育館の2階の観覧席から呼ばれるような状況で、注文伝達にはもっぱら手話が活躍します。例えば中部電力、東京電力、東海BK、伊藤忠、住友商事は、このようなアクションとなります。【アクション略】このような伝達方法なのですが、以外に株数・銘柄の間違ひはありません。ただ東京証券取引所に配属になり「時間優先の原則」「価格優先の原則」は社内では徹底されているのに、いい加減なものだと感じました。今ではコンピューター化されているのでありえない話ですが、先ほどのように私がお客様の注文を体育館の観覧席にいる社内の人から伝達され、「板」まで走ってその注文を提出する時に、人間関係が以外に重要なポイントとなります。と言うのは、東京証券取引所は場所を提供しているだけであり、各証券会社間を取次ぎ、どこの証券会社がいくらで何株の売買をした、と決定するのは、実業会という「板」を管理している仲介業者なのです。我々のような「場立ち」は彼らに注文を渡し売買の結果を受ける係りなのです。砂糖に群がる蟻の私は、目立つか、それともその人達と仲良くしておくかがポイントになり、「板」に近づく事ができなくても、親愛の情から遠くから注文を受けられると言う訳なのです。だからこそ、そこには先程の原則は無いと感じたわけです。ただ、注文を直ぐに受けてくれる事はいい事ばかりでなく、時には東海観光の最高値を買ってしまった事もあり、数年はその値段を越す事が無かった記憶があります。その業務は半年で終わり、岐阜の中津川支店への転勤となりました。営業エリアは広く、「春の家族会」で訪れた南木曾の先にある木曾福島、下呂、多治見方面まででした。私はその中で、恵那から多治見が担当地域であり、奇異な話で、今回退会された三菱東京UFJの市川さんも当時多治見支店に勤務であったらしく、お互いにその当時の話で大いに盛り上がりました。その中津川支店で勤務している時に結婚し、子供も女の子2人に恵まれました。もともと転居を伴う転勤の少ない地元企業に就職願望があったのは、学生時代から結婚を意識している今の女房が名古屋にいた訳で、良く友人からは阿部でなくスケベだと冷やかされながら、25歳になる寸前に結婚しました。その後、ブラックマンデーの年の87年12月にバブルの頂点の時期を迎えようとしていた池袋支店に転勤となり、翌年正月大発会から東京での仕事を始めたわけですが、ビールをコップ一杯しか飲めなかったお酒の弱い私には非常に大変でした。池袋には有名な西武百貨店があり、友人の結婚の贈り物を買に行きました。そこで贈答品として父が作った五寸皿が鎮座していました。びっくりしました。何に驚いたかと言いますと、時を経て販売されている事と、その値段にです。確か手のひらサイズの五寸皿は一枚55円を出荷していました。それがなんと10倍程度であったと思います。選択を間違えたのではと思いつつ、もう既に就職して10年以上のことでした。徐々に都会にも順応し、カンントリー派からシティ派に脱皮しかけ、お酒も少しは嗜むようになって来たところ転勤となりました。日

経平均はブラックマンデーの安値20513円から史上最高値の38915円となり21000円程度に戻って
いました。また転居を伴う転勤で平成6年6月に豊橋支店勤務となり、その豊橋支店で「東海証
券」との合併を経験し、「東海丸万証券」となりました。平成8年10月に転居を伴わない転勤で
名古屋駅前支店勤務となりました。平成10年6月に引続き転居を伴わない転勤で堀田支店勤務と
なり、在籍中の平成11年4月「内外証券」と合併、続いて平成12年10月に「東京証券」と合併し
「東海東京証券」となり、会社は大きくなり、入社理由の転居を伴わない転勤が無くなってしま
いました。その後、平成13年11月に堀田支店との統合で新瑞橋支店に転勤となり平成14年11月、
家から歩いてでも通える鳴海支店となりました。ところが、平成17年3月にまた中津川支店の勤
務となりました。ここは根性で通勤をしましたが、非常に体力的にきつかったです。しかし、ま
だそれは甘い話であり、平成19年4月に鹿児島支店に単身赴任で転勤となりました。非常に良い
場所で、特にあこがれていた屋久島に行った事は感激でした。でも仕事でも行ったのですけどね。
刺激が欲しいようです。そして、平成20年10月より碧南支店に転勤となりました。当地に来て一
番変化した事は、自宅通勤じゃなくて飛行機に全く乗らなくなったことです。飛行機が基本的に
好きじゃないので地に足がついている事が安心です。そしてこの碧南の地でロータリアンとして
皆様のお仲間に加えさせていただいた事を深く感謝させていただき、つたない話を終わらせてい
たいただきます。

今後もご指導いただけますようよろしくお願い致します。

次回例会案内 平成21年6月17日（水）
最終例会 役員挨拶